

平成 27 年度 事業 報 告 書

社会福祉法人 薫風会

1 法人事業活動状況

平成 27 年度の介護保険報酬改正により、基本サービス費が 5.58% 減額された中で、収入の確保を図るため、開設が遅れていた撫子ユニット 9 床を 5 月から満床にし、短期入所者のロング利用などにより利用率の向上に努めるとともに、介護人材確保対策の推進、サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築などの観点から加算措置の適用を最大限に確保するなど、収益の増加に努めてきました。

介護報酬改正による影響は、基本サービス費の減額改定で 2,042 万円の減収となりましたが、介護職員待遇改善加算（I）の算定により 1,331 万円の増収、新規加算の算定及び単価変更で 1,233 万円の増収となりました。又、居住費では、制度改革に伴う基準費用該当者の増により 398 万円の増収となりました。

利用者数の増減では、短期入所の利用率の向上で 339 万円、小規模特養の撫子ユニット 9 床を 5 月から満床にしたことで 4,525 万円、閏年により 167 万円の増収となりました。

その結果、介護保険事業収入は 6 億 2,775 万円で、特養の施設で 547 万円、短期入所で 275 万円、小規模で 5,033 万円、全体で 5,855 万円の増収となりました。

介護職員の待遇改善について、更なる資質向上の取組み、雇用管理の改善、労働環境の改善の取組を進める事業所を対象に創設された介護職員待遇改善加算（I）の基準を満たすため介護職員手当を月額 1 万 2 千円増額し、介護職員のキャリアパス制度の導入及び資質向上のための人事考課を実施しました。全国的に介護職員が不足している中で、学校訪問や実習指定施設としての実習生の受け入れ、タウン情報誌への職員募集広告の掲載、人材紹介会社との契約など、職員確保のために様々な方策を講じてきました。夜勤専門のパート職員の採用、パート職員から正規職員への転換等など新たな取組みにより、最低限の職員は確保できていますが、慢性的に介護職員が不足している状況が続いています。

補正予算では、人件費を 310 万円減、水道光熱費を 244 万 1 千円減、ナースコールの更新を中止し PHS に変更してリース債務の返済金支出を 260 万円減額し、最終予算を収支均衡にしました。その結果、決算においては、当期活動増減差額で 2,586 万 6,699 円の利益を確保することができました。

2 理事会・評議員会開催状況

* 別紙 理事会・評議員会開催報告

3 監事監査の実施状況

平成 27 年度決算についての監事監査は、平成 28 年 5 月 19 日に実施しました。